

資料 5

令和 5 年 8 月 8 日（火）佐賀市水対策市民会議
令和 5 年度第 1 回委員会

河川清掃参加に向けた パートナーシップづくり

1. 河川清掃の改善の具体的な取り組み及び各主体の役割について

- ・平成 30 年度～令和 2 年度で佐賀市水対策市民会議にて策定
- ・課題解決に向けた短期、中期、長期の具体的な取り組みを設定

課題 マンパワーの不足

- (1) 以前はできていた清掃作業が難しくなった。
- (2) 協力を求めたい地域の思いと社会貢献をしたい企業等の思いが上手く合致していない。
- (3) 人集めが上手くいっている地域のノウハウ等が共有できていない。
- (4) 人口減を背景にした河川清掃活動における佐賀市の役割が整理できていない。
- (5) 地域外の活力がうまく呼び込めていない。

課題 河川清掃参加へのモチベーションの低下

- (1) 多様な考え方の中で、河川清掃参加に繋がる動機付けが弱い。

具体的な取り組みの方向性

河川清掃参加に向けたパートナーシップづくり

現況・課題

企業等にも協力を求めたいと思う地域の思いと社会貢献をしたいと思う企業等との思いが上手く合致していない。

取組の方向性

- ・河川清掃等への強制性がないように留意しながら、企業等や学校等に対し、「社会貢献活動としての河川清掃への参加、関り方」を促す取り組みとする。
- ・河川清掃参加のモチベーションが上がるような仕組みを検討し、企業等と行政（市）、企業等と地域（自治会）のパートナーシップの構築を図る。

2. 河川清掃の現状の整理

(1) 企業等アンケート（平成30年度第1回委員会資料より一部抜粋）

■調査概要	
○趣 旨	河川・水路の清掃活動の担い手不足などの課題解決に向けた基礎資料として実施
○対 象	1,099社 (内訳)・川を愛する週間協力企業 ・まなざし運動参加企業 ・男女共同参画推進協賛事業所
○期 間	平成29年9月8日～9月29日
○方 法	郵送発送、郵送回収

■集計（回答）	
395社	※回収率：35.9%
(内訳)	
・旧佐賀市	・・・ 295社
・旧大和町	・・・ 29社
・旧三瀬村	・・・ 8社
・旧東与賀町	・・・ 15社
・旧諸富町	・・・ 11社
・旧富士町	・・・ 10社
・旧川副町	・・・ 13社
・旧久保田町	・・・ 14社

社会貢献活動について

Q1 貴社では社会貢献活動を行っているか。（選択式）

社会貢献活動を行っているかを聞いたところ、回答があった395社のうち、「行っている」と回答した企業等が281件（71.1%）あり、一方で「行っていない」と回答した企業等は102社（25.8%）であった。また、未回答が12社（3.0%）あった。

7割を超える高い割合で社会貢献活動に取り組まれていた。

【表1】

■社会貢献活動の実施	回答数	割合
① 行っている	281件	71.1%
② 行っていない	102件	25.8%
未回答	12件	3.0%
計	395件	100%

Q2 社会貢献活動にご関心を持っているか。(選択式)

※Q1で「行っていない」と回答した企業等のみ回答

Q1で社会貢献活動を行っていないと回答した企業等に対し、社会貢献活動への関心を聞いたところ、「関心がある」回答した企業等が110件(87.3%)あり、一方で「関心がない」と回答した企業等は16社(12.7%)であった。

【表2】

■社会貢献活動への関心	回答数	割合
① 関心がある	110件	87.3%
② 関心がない	16件	12.7%
計	126件	100%

Q3 関心はあるが実際には社会貢献活動を行っていない理由は何か

※Q2で「② 関心がある」と回答した企業等のみ回答(複数回答可)

Q3で関心はあると回答した企業等に対し、関心はあっても社会貢献活動を行っていない理由を聞いたところ、「必要な人材がない」41件(21.7%)が最も多かった。次いで、「社会貢献活動の機会が今までなかった」35件(18.5%)、さらに「経済的な余裕がない」、「社会貢献活動の仕方がわからない」、「従業員の理解や協力が得られない」、「その他」の各21件(11.1%)が続く。

社会貢献活動を行っていない理由をみると、企業の社会貢献活動は、「人材」や「社内の理解」など各企業等の体制等が大きく影響すると考えられる。

一方で、「社会貢献活動の仕方がわからない」、「実践事例がない」17件(9.0%)といった理由に対しては、各企業での情報収集だけではなく、市やNPO等の外部からの実践事例の情報提供などの対策も考えられる。

【表3】

■社会貢献活動を行わない理由	回答数	割合
ア 経済的な余裕がない	21件	11.1%
イ 社会貢献活動に必要な人材がない	41件	21.7%
ウ 社会貢献活動の仕方がわからない	21件	11.1%
エ 社会貢献活動の機会が今までなかった	35件	18.5%
オ 従業員の理解や協力が得られない	21件	11.1%
カ 実際の実践事例等の情報が手元にない	17件	9.0%
キ 地域社会とのコミュニケーションがない	12件	6.3%
ク その他	21件	11.1%
計	189件	100%

Q5 社会貢献活動に関心を持たない理由はなにか

※Q2で「② 関心がない」と回答した企業等のみ回答（複数回答可）

社会貢献活動に関心がないと回答した企業等に対し、その理由を聞いたところ、「人的な余力がない」との回答が最も多く、23件（52.3%）であった。

次いで、「資金的な余力があれば取り組みたいが現段階では困難」、「忙しくて時間がない」との回答が各8件（18.2%）であった。

関心があっても実践できない理由と同様に、企業等にとっては、社会貢献には「人的な余力」が必要という認識を持っていることがわかった。

【表5】

■社会貢献活動に関心がない理由	回答数	割合
ア 業務に直接関係がない	4件	9.1%
イ 資金的な余力があれば取り組みたいが、現段階では困難である	8件	18.2%
ウ 社会貢献活動への意義が見いだせない	1件	2.3%
エ 忙しくて時間がない	8件	18.2%
オ 人的な余力がない	23件	52.3%
カ その他	0件	0.0%
計	44件	100%

河川清掃活動への参加状況について

Q8 これまで春と秋の川を愛する週間に河川清掃活動を行ったことがあるか

平成26年度から平成28年度に実施された貴社の社会貢献活動のうち、佐賀市で実施する春と秋の河川清掃への参加の状況について聞いた。

社会貢献活動のうち、河川清掃の参加状況を聞いたところ、「行っている」と回答した企業等は、155件（49.2%）で、「行っていない」と回答した企業等は、160件（50.8%）だった。

【表8】

■河川清掃活動の参加	回答数	割合
① 行っている	155件	49.2%
② 行っていない	160件	50.8%
計	315件	100%

Q9 市民参加の河川清掃活動に関心を持っているか。

※Q8で「②行っていない」と回答した企業等のみ回答（複数回答可）

河川清掃を「行っていない」と回答した企業等に対し、河川清掃の参加への関心を聞いたところ、「関心がある」と回答した企業等は、128件（73.6%）であった。

また、「関心がない」と回答した企業等は、46件（26.4%）であった。

【表9】

■河川清掃活動への関心	回答数	割合
① 関心がある	128 件	73.6%
② 関心がない	46 件	26.4%
計	174 件	100%

Q10 河川清掃活動に参加されない理由は何か。 [複数回答可]

※Q8で「②行っていない」と回答した企業等のみ回答（複数回答可）

河川清掃に参加しない理由を聞いたところ、「人的な余力がない」76件（24.8%）が最も多く、次いで、「時間的な余裕がない」57件（18.6%）、「余力があれば取り組みたいが現段階では困難」54件（17.6%）だった。

【表10】

■河川清掃活動に参加されない理由	回答数	割合
ア 時間的な余裕がない	57 件	18.6%
イ 川に入っの作業等は危険を伴う	16 件	5.2%
ウ 道具がない	15 件	4.9%
オ 必要な情報がない	38 件	12.4%
カ 地域活動等への取り組みの方針がない	6 件	2.0%
キ 余力があれば取り組みたいが、現段階では困難	54 件	17.6%
ク 人的な余力がない	76 件	24.8%
ケ 地域との関わり方がわからない	7 件	2.3%
サ その他	38 件	12.4%
計	307 件	100%

Q11 平成26年度から平成28年度の3年間の活動の状況

※Q8で河川清掃活動を「①行っている」と回答した企業等のみ回答。

参考状況

参加状況は、各年度とも春・秋両方の参加が最も多かった。

【表11】

□参加状況	H28		H27		H26	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ア 春のみ	22件	13.4%	17件	10.7%	17件	10.7%
イ 秋のみ	9件	5.5%	10件	6.3%	10件	6.3%
ウ 春・秋両方	128件	78.0%	125件	78.6%	128件	80.5%
エ なし	5件	3.0%	7件	4.4%	4件	2.5%
計	164件	100%	159件	100%	159件	100%

参考形態

参加形態は、各年度とも大きな違いはなく「所在地の自治会等との協働で行っている」と回答した企業等が最も多く、次いで「企業として行っている」、「従業員の自主的な取り組みとして行っている」、「社内有志で行っている」の順となっている。

【表11-②】

□参加形態	H28		H27		H26	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ア 会社行事など企業として行っている	61件	31.1%	61件	32.4%	63件	32.0%
イ 従業員の自主的な取り組みとして行っている	25件	12.8%	22件	11.7%	25件	12.7%
ウ 社内有志(ボランティア)で行っている	19件	9.7%	19件	10.1%	21件	10.7%
エ 労働組合等の取り組みとして行っている	2件	1.0%	2件	1.1%	2件	1.0%
オ 所在地の自治会等と協働で行っている	77件	39.3%	73件	38.8%	75件	38.1%
カ その他	12件	6.1%	11件	5.9%	11件	5.6%
計	196件	100%	188件	100%	197件	100%

実施場所

実施場所は、各年度とも大きな違いはなく「自社の周辺の水路」の清掃が最も多く、半数を超えている。次いで、「自社所在地域内の水路」を清掃していると回答した企業等が多かった。

【表 1 1-③】

□実施場所	H28		H27		H26	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ア 貴社周辺の水路	108 件	55.4%	105 件	54.7%	107 件	55.4%
イ 貴社所在地域内の水路	68 件	34.9%	70 件	36.5%	68 件	35.2%
ウ 貴社所在校区内(小学校区)の水路	3 件	1.5%	3 件	1.6%	4 件	2.1%
エ 貴社所在校区外(小学校区)の水路	1 件	0.5%	1 件	0.5%	2 件	1.0%
オ その他	15 件	7.7%	13 件	6.8%	12 件	6.2%
計	195 件	100%	192 件	100%	193 件	100%

Q12 河川清掃活動について、地域の要望に応じて、所在地以外の自治会等の河川清掃活動に支援という形で参加する考えはあるか。【複数回答可】

回答として多かったのは、「現時点では、判断できないが、検討の余地はある（実施は難しそう）」が97件（25.9%）であった。次いで、「現時点では、判断できないが、検討の余地はある（実施できそう）」が49件（13.1%）だった。

また、回答について、大きく「ある」、「検討の余地はある」、「ない」、「その他」の4つに分けてみると「ある」は102件（27.3%）、「検討の余地はある」は146件（39.0%）、「ない」は100件（26.7%）、その他が26件（7.0%）だった。地域要望に応じた河川清掃活動の支援について、6割以上（「ある」27.3%+「検討の余地はある」39.0%）の企業で「検討」以上の考えを持っていることがわかった。

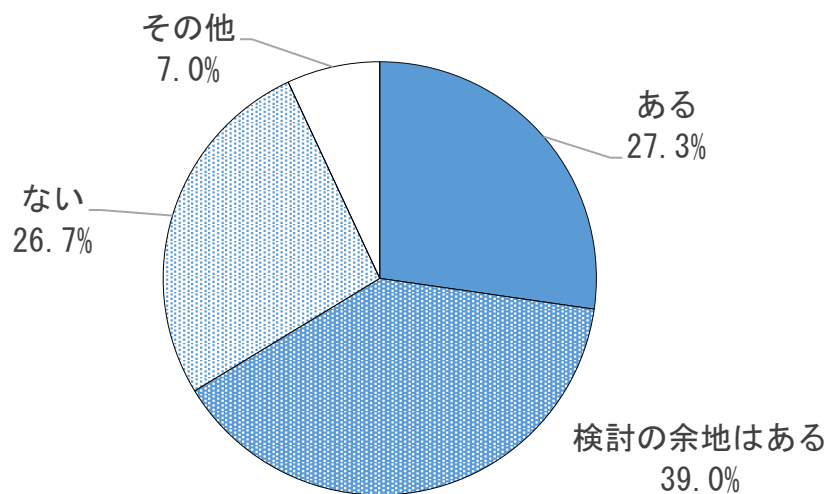
【表】 1 2-①

所在地以外の自治会等の河川清掃への支援に対する考え	回答数	割合
ア ある(会社行事など企業として参加できそう)	32	8.6%
イ ある(従業員の自主的な取組みとしてなら参加できそう)	35	9.4%
ウ ある(社内有志(ボランティア)でなら参加できそう)	35	9.4%
エ 現時点では判断できないが、検討の余地はある(実施できそう)	49	13.1%
オ 現時点では判断できないが、検討の余地はある(実施は難しそう)	97	25.9%
カ ない(自社所在地の地域への地域貢献活動のため)	43	11.5%
キ ない(自社所在地害の地域に対し、河川清掃活動等での支援は考えていない)	39	10.4%
ク ない(そういう考えはない)	18	4.8%
ケ その他	26	7.0%
計	374	100.0%

【表】 12-②

所在地以外の自治会等の河川清掃への支援に対する考え	回答数	割合
ある	102	27.3%
検討の余地はある	146	39.0%
ない	100	26.7%
その他	26	7.0%
計	374	100%

所在地以外の自治会等の河川清掃への支援に対する考え



■企業アンケートの整理

○社会貢献活動について

- ・ 7割を超える企業が社会貢献活動に取り組んでいた。
- ・ 社会貢献活動に関心はあるが実際には行っていない理由は、「人材がない」「社内の理解が得られない」といった企業等の体制と、「活動の仕方がわからない」「実践事例がない」といった情報不足が大きく影響していた。

○河川清掃活動への参加状況について

- ・ 春と秋の河川清掃については、約半数の企業が実施していた。
- ・ 河川清掃を行っていない企業の7割強が河川清掃への参加に関心を持っていたが、「人的な余力・時間的な余裕がない」などの人材面の不足、また「必要な情報がない」といった情報不足などが原因で実施に至っていなかった。
- ・ 河川清掃を行っている企業の多くは、「春と秋」に所在地域の自治会等と協働の形で、自社周辺の水路を中心に清掃していた。
- ・ 所在地以外の河川清掃活動の支援については、6割以上（「ある」27.3%＋「検討の余地はある」39.0）の企業で「検討」以上の考えがあった。

(2) 企業等の河川清掃の参加に係る聞き取り調査
(平成31年度第1回委員会資料より一部抜粋)

■調査概要

- 趣 旨 企業が河川清掃の参加をためらう要因、参加に向けた考えを聞き出す。
- 対 象 河川清掃を行ったことがないが、社会貢献活動としての河川清掃活動への関心はあると回答した企業 3社
- 期 間 令和元年4月24日～4月25日
- 方 法 ヒアリング

社会貢献の考え方

○地域に協力したい

- ・地域の根差した企業として、地域の活動に参加したい。
- ・地域の企業や住民の方との関わりもあるので、地域との絆は大切にしたい。
- ・会社の方針は地域密着。地域と一緒に歩いていくという考え。

○環境美化活動は実施 (3社)

- ・環境美化活動は、毎年実施している。

※地域の参加者が高齢化していて、人力だけでは終わらないので、会社が所有する機械等も使用している。(1社)

河川清掃活動に参加しない要因

○安全面で不安 (1社)

- ・会社としてこれまで河川清掃を実施したことはない。
- ・河川清掃は、川の中は危ないというリスクがある。社員の安全面で憂慮している。

○地域活動への社員への呼びかけは難しい (2社)

- ・社内に河川清掃など特定の活動に参加を呼び掛けるという対応は難しい。
- ・地域活動に社内ボランティアを募って参加するという形ではない。
- ・社員に地域の河川清掃に参加を促すような案内(呼び掛け)は難しい。
強制に受け取られかねない

○必要な情報がない（2社）

- ・地域活動に貢献したいという思いはあるが、必要な情報がない。
- ・案内等があれば参加も検討できる。また、やり方がわからないので、やり方がわかれば計画もできる。

○地域に掃除する河川がない

○単独で活動する形はやりにくい（1社）

- ・業界団体を通じて呼びかけてもらうと動きやすい。
- ・地域に掃除する河川がないので、他の地域で活動することになるが、その地域の同業他社との関係もあり、弊社単独で活動する形はやりにくい。

○参加時期があわない

- ・業務の形態上、平日の参加は難しい。

要因を解消するために佐賀市ができること 佐賀市への要望

○他社の取り組み事例の情報提供

- ・他社の活動の情報などがあると社内の河川清掃参加の雰囲気も醸成しやすい。

○河川清掃に必要な情報の提供

- ・道具などの貸し出し、ごみの回収などの情報。
(仮に実施するとすると) 道具の貸し出しやごみの回収があるのはいい。

○河川清掃ポスター等の提供

- ・河川清掃のポスターなど全市的にPRするようなざっくりしたものであれば社内でも掲示することはできる。
※特定の地域の河川清掃など限定されるものは難しい
- ・パンフレットなどを送ってほしい。

○更なるPRの実施

- ・CMを流すなどもっとPRしてはどうか。

○業界団体等への呼びかけ

- ・佐賀市から業界団体を通じて呼びかけてもらうと参加しやすい。

○困っている地域の情報の提供

- ・年に1回ぐらいにはなるが、困っている地域の情報があれば、都合にもよるが、手伝えることもできるかもしれない。

■聞き取り調査の整理

○河川清掃に参加されない主な要因

- ・安全面での不安
- ・社員への呼びかけが難しい
- ・必要な情報がない
- ・地域に掃除する河川がない
- ・参加時期が合わない

○要因解消のために佐賀市ができること

- ・他社の取り組み事例の情報提供
- ・河川清掃に必要な情報の提供
- ・河川清掃ポスター等の提供
- ・業界団体等への呼びかけ
- ・困っている地域の情報の提供

3. 企業等とのパートナーシップづくり

(1) 目的

河川清掃活動を実施している企業等と市のパートナーシップを構築し、企業等の河川清掃参加のモチベーションの向上を図るとともに、河川清掃活動を実施していない企業等の新規参加につなげる。

(2) 対象者

市内企業、学校等

(3) 概要

企業や学校等の河川清掃への参加協力は、春と秋の河川清掃の時期に合わせて、市内の企業、学校等に協力依頼の通知を送付し、実施企業から実施報告書が提出されている。

そこで、この関係を発展させ、会員組織の体制を整えることで、企業等のモチベーション向上のための情報提供等を行い、また、市ホームページで会員を公表して企業等の社会貢献活動を発信する。

さらに、河川清掃を実施していない企業等に対し、会員組織の活動内容を伝え、河川清掃活動に必要な情報等を入手しやすくし、清掃活動への参加につなげる。

(4) 会員に提供する情報（例）

- ・ 道具の貸し出し・河川ごみの回収等、河川清掃に必要となる情報
- ・ 企業の取り組み事例
- ・ 河川浄化功労者表彰制度
- ・ 傷害保険 ⇒ 「さわやかマイタウンSAGA」への登録で保険適用
- ・ (希望する企業には) 地元自治会が清掃を希望する水路の場所

「さわやかマイタウンSAGA」について

- ・ 市民、各種団体・事業所のボランティアが公園、道路、河川等の公共施設において実施する美化活動を支援する事業。
- ・ 市民等と市が合意書を取り交わし、市が美化活動に必要な清掃道具等を貸与（火ばさみ等）・支給（軍手・ボランティア袋）している。また、活動中の事故は、全国市長会市民総合賠償保障保険で対応できる。年度末に報告書の提出を求めている。
- ・ 123 団体が登録されており、佐賀市のホームページで団体名を公表している。

4. 企業への聞き取り調査

■調査概要	
○趣 旨	企業等とのパートナーシップづくりのため、会員制度に対する関心度や入手したい情報等について企業の意向を確認する。
○対 象	河川清掃を積極的に実施している企業 (河川浄化功労者表彰を受賞した企業) 10社程度
○期 間	令和5年8月～9月
○方 法	ヒアリング

■ヒアリング内容 (案)

(1) 基本情報

ヒアリング項目 (案)	意 図
業種	河川清掃の実施方法等に影響を与える企業の業種、従業員数、勤務形態その他の特徴について確認
従業員数 (正社員とパート労働者の比率、など)	
勤務形態 (日勤・夜勤・交代制、早出・遅出がある、など)	
企業の特徴 (従業員教育に力を入れている、社会貢献活動が活発、地域との交流が多い、など)	

(2) 河川清掃の実施状況

ヒアリング項目 (案)	意 図
河川清掃の頻度	河川清掃の実情を確認
一回あたりの参加人数	
河川清掃の実施者 (〇〇担当、〇〇グループ、希望者など)	
河川清掃の実施場所	
実施日・実施時間の選定方法 (平日・休日実施、早朝、勤務時間中など)	
自治会との調整の有無 (実施について自治会に伝えている、自治会の清掃に参加、自治会と同日に別の場所で実施、自治会とは別日に実施など)	自治会と企業との関係性を確認

ヒアリング項目（案）	意 図
【希望者を募る場合】清掃活動の募集の方法 （どのくらい前から、手段：回覧・掲示板など）	H29 アンケート「社員の呼びかけが難しい」への対応の確認
市の道具借用・ごみ回収依頼の有無	市の制度の利用状況を確認
安全面で配慮している点	R1 聞き取り調査「安全面での不安」への対応を確認
河川清掃をはじめた契機	河川清掃の取り組み事例の参考として確認
河川清掃を実施するときに工夫している点	
河川清掃を行って来て良かったと感じる点	
河川清掃の実施にあたり困難と感じる点 （人数が集まらない、川が深い、ケガが心配など）	

（３）パートナーシップづくりに対する考え

ヒアリング項目（案）	意 図
会員制度への登録 （登録したい理由、登録したくない理由、など）	パートナーシップのあり方を検討する際の参考として確認 【参考】 会員に提供する情報（案） ・河川清掃に必要なとなる情報 ・企業の取り組み事例 ・河川浄化功労者表彰制度 ・傷害保険 ・（希望する企業）地元自治会が清掃を希望する水路の場所
河川清掃に必要な情報について （知りたい情報、情報の入手方法、など）	
他の企業の取り組み事例 （定期的に知りたい、必要ない、など）	
表彰制度 （モチベーション向上への効果はある、など）	
市の傷害保険の利用 （社内の保険を利用、市の保険を利用したい、など）	
所在地の自治会や所在地以外の自治会からの河川清掃の要望への対応について （年１回なら対応可能、所在地以外は困難、要望があれば検討するので場所を知りたい、など）	
河川清掃の実施企業としてのホームページ等掲載 （会社名のみであれば可、詳しい活動や写真等も掲載したい、など）	
河川清掃に関心がある企業が河川清掃をはじめた契機となること （市で河川清掃のイベントを実施、など）	
業界団体等への呼びかけ （河川清掃の企業の新規参加には業界団体への呼びかけは効果がある、効果は特にない、など）	R1 聞き取り調査「業界団体等への呼びかけ」に対する考えを確認